



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 アトム

コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 太田 一義

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	30,103	5.1	1,685	16.9	1,738	3.7	794	△19.2
24年3月期第3四半期	28,637	△4.6	1,441	△6.9	1,675	10.2	983	98.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 791百万円 (△28.0%) 24年3月期第3四半期 1,100百万円 (84.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.35	4.03
24年3月期第3四半期	5.48	4.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	29,311	11,509	39.3	38.37
24年3月期	28,320	10,969	38.7	35.03

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 11,509百万円 24年3月期 10,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,578	8.5	2,400	30.1	2,380	16.0	920	△15.0	4.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	168,469,955 株	24年3月期	168,469,955 株
25年3月期3Q	467,807 株	24年3月期	467,578 株
25年3月期3Q	168,002,282 株	24年3月期3Q	168,002,622 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については2ページ「(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景に、厳しい状況にあるものの、東日本大震災の復興需要による穏やかな回復傾向が見られました。一方、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、景気の下振れリスクが存在しており、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当業界におきましても雇用情勢不安、個人所得の低迷から外食の節約意識は依然として高く、取巻く環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような環境のなか、当社グループは、今期、増収増益のための積極的な出店、業態変更、改装及び不採算店の閉鎖を行いました。

店舗数につきましては、レストラン事業5店舗、居酒屋事業7店舗、その他の事業2店舗の新規出店及びレストラン事業9店舗、居酒屋事業1店舗、その他の事業2店舗の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は389店舗（直営店368店舗、FC店21店舗）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は301億3百万円（前期比5.1%増）、営業利益は16億85百万円（同16.9%増）、経常利益は17億38百万円（同3.7%増）となり四半期純利益は7億94百万円（同19.2%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

<レストラン事業>

レストラン事業につきましては、新店5店舗（「にぎりの徳兵衛」2店舗、「カルビ大将」2店舗、「ステーキ宮」1店舗）をオープンし、業態変更を12店舗（「海鮮アトムボーイ」から「にぎりの徳兵衛」へ1店舗、「にぎりの徳兵衛」から「ステーキ宮」へ1店舗、「カルビ大将」から「ステーキ宮」へ3店舗、「えちぜん」から「ステーキ宮」へ4店舗、「味のگانこ炎」から「ステーキ宮」へ2店舗、「暖や」から「カルビ大将」へ1店舗）、改装を4店舗（「ステーキ宮」2店舗、「カルビ大将」2店舗）、不採算店9店舗（「ステーキ宮」1店舗、「味のگانこ炎」1店舗、「がんこ亭」1店舗、「アトムボーイ」1店舗、「海鮮アトムボーイ」1店舗、「廻転アトムボーイ」1店舗、「四天王」1店舗、「かつ時」1店舗、「濱ふうふう」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は223店舗となりました。

以上の結果、レストラン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は181億21百万円となりました。

<居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、新店7店舗（「寧々家」5店舗、「いろはにはへと」2店舗）をオープンし、業態変更を6店舗（「M'sダイニング」から「寧々家」へ1店舗、「暖」から「寧々家」へ5店舗）、改装を1店舗（「暖や」）、不採算店1店舗（「北海道」）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は112店舗となりました。

以上の結果、居酒屋事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は89億19百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、新店2店舗（「時遊館」）をオープンし、業態変更FC店2店舗（「海鮮アトムボーイ」から「にぎりの徳兵衛」）、改装を2店舗（「時遊館」1店舗、FC店「にぎりの徳兵衛」1店舗）、不採算店1店舗（「W i l l B e」）及びFC店1店舗（「廻転アトムボーイ」）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は54店舗（直営店33店舗、FC店21店舗）となりました。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は30億62百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億90百万円増加し、293億11百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が減少したものの、有形固定資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億50百万円増加し、178億1百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したものの、長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億39百万円増加し、115億9百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は30億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は29億54百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益（15億15百万円）及び減価償却費の計上（13億18百万円）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は19億93百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出（18億2百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は10億76百万円となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出（25億75百万円）及び短期借入れによる収入（12億65百万円）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内関連子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,203	3,088
売掛金	375	472
たな卸資産	276	442
その他	1,325	1,539
流動資産合計	5,180	5,542
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,979	9,615
土地	3,886	3,886
その他（純額）	1,973	2,541
有形固定資産合計	14,840	16,043
無形固定資産	178	169
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,046	5,038
その他	3,273	2,643
貸倒引当金	△198	△125
投資その他の資産合計	8,121	7,555
固定資産合計	23,140	23,769
資産合計	28,320	29,311
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,091	2,493
1年内償還予定の転換社債	—	2,200
短期借入金	—	1,265
1年内返済予定の長期借入金	2,981	1,920
未払法人税等	192	233
引当金	268	255
その他	2,993	3,124
流動負債合計	8,526	11,493
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	2,200	—
長期借入金	3,529	3,004
引当金	10	5
資産除去債務	620	608
その他	2,464	2,690
固定負債合計	8,824	6,308
負債合計	17,351	17,801

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	2,973
資本剰余金	6,016	6,016
利益剰余金	2,210	2,752
自己株式	△187	△187
株主資本合計	11,012	11,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40	△45
繰延ヘッジ損益	△2	—
その他の包括利益累計額合計	△43	△45
純資産合計	10,969	11,509
負債純資産合計	28,320	29,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	28,637	30,103
売上原価	9,147	9,626
売上総利益	19,489	20,477
販売費及び一般管理費	18,048	18,791
営業利益	1,441	1,685
営業外収益		
不動産賃貸収入	366	362
貸倒引当金戻入額	98	27
その他	216	108
営業外収益合計	681	498
営業外費用		
支払利息	180	174
不動産賃貸原価	252	263
その他	14	8
営業外費用合計	446	445
経常利益	1,675	1,738
特別利益		
固定資産売却益	15	3
受取補償金	—	48
受取保険金	11	—
特別利益合計	26	52
特別損失		
固定資産除却損	212	220
減損損失	117	36
賃貸借契約解約損	—	11
投資有価証券評価損	200	1
店舗閉鎖家賃	141	—
その他	32	4
特別損失合計	705	274
税金等調整前四半期純利益	997	1,515
法人税、住民税及び事業税	111	216
法人税等調整額	△97	505
法人税等合計	13	721
少数株主損益調整前四半期純利益	983	794
四半期純利益	983	794

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	983	794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	△5
繰延ヘッジ損益	7	2
その他の包括利益合計	117	△2
四半期包括利益	1,100	791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,100	791
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	997	1,515
減価償却費	1,168	1,318
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	88	89
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△209	—
支払利息	180	174
固定資産除却損	212	220
減損損失	117	36
投資有価証券評価損益 (△は益)	200	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△137	△97
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△194	△166
前払費用の増減額 (△は増加)	32	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	612	402
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42	107
その他	61	△226
小計	3,088	3,281
利息及び配当金の受取額	13	16
利息の支払額	△190	△187
法人税等の支払額	△136	△155
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,774	2,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,211	△1,802
敷金及び保証金の差入による支出	△186	△324
敷金及び保証金の回収による収入	418	316
その他	20	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△959	△1,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	978	1,265
短期借入金の返済による支出	△200	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△280	△505
長期借入れによる収入	1,120	990
長期借入金の返済による支出	△2,216	△2,575
配当金の支払額	△84	△250
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△683	△1,076
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,131	△115
現金及び現金同等物の期首残高	2,279	3,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,410	3,088

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。